

津島市人口ビジョン及び津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

1 背景

急速な人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域を創生していくために、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国の長期ビジョン及び総合戦略を踏まえ、人口の現状と将来の展望を提示する「津島市人口ビジョン」及び本市の実情に応じた今後5年間の目標や基本的方向、具体的な施策をまとめた「津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

2 津島市人口ビジョン

(1) 人口ビジョンの目標

転出超過となっている20～30歳代の子育て世代の転出を重点的に抑制することにより、その年齢層の純移動率のマイナスを解消し、全体として社会増を目指すとともに、子どもの数を増やす。

(2) 人口の将来展望

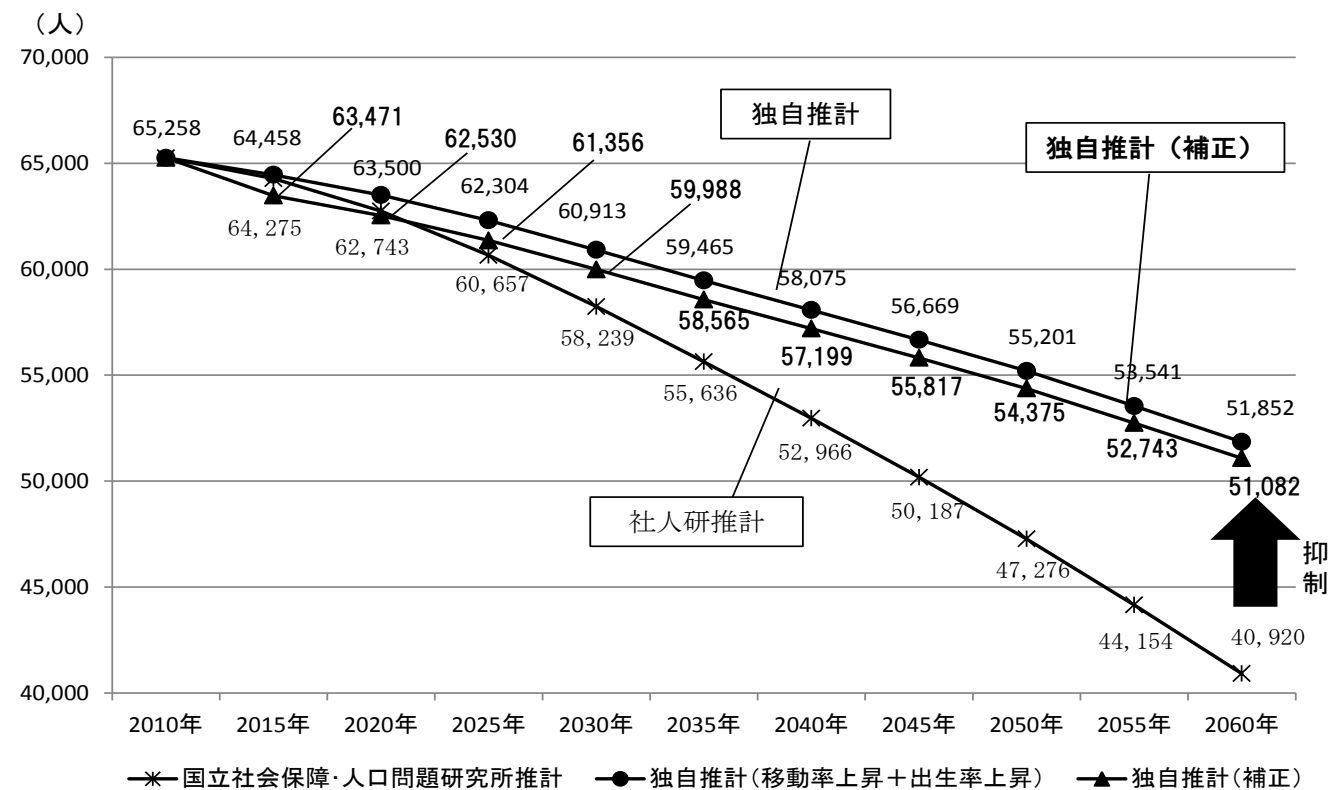
・将来の人口を次のように設定する。

① 純移動率

現在マイナスとなっている年齢層の純移動率を半減させ、平成32年(2020年)以降にはマイナスを0とし、純移動率がプラスの年齢層はその率をそのまま維持し、全体としては社会増になるものとする。

② 合計特殊出生率の目標

平成22年(2010年)の1.38から、平成42年(2030年)には1.80、平成62年(2050年)には2.07を目標とする。



3 津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略等策定に係る実施状況

(1) 各種アンケート調査の実施 (8月)

- ア 15歳から20歳を対象としたアンケート調査 (無作為抽出1,000件)
- イ 21歳から40歳を対象としたアンケート調査 (無作為抽出1,000件)
- ウ 転出者を対象としたアンケート調査 (無作為抽出500件)
- エ 転入者を対象としたアンケート調査 (無作為抽出500件)

(2) 中学生及び高校生世代の津島市の将来に対する思いや考えなどを聞くため「ユース世代未来創造ワークショップ」を開催 (8月)。

市内在学・在住の中学生及び高校生30人参加。

(3) 津島市総合戦略策定委員会

(第1回 9月25日、第2回 11月18日、第3回 12月18日、第4回 1月22日)

(4) 子育てサークル、不動産業者、ハローワーク、いちい信用金庫、連合愛知尾張南地域協議会事務局に対するヒアリング

(5) パブリックコメントの実施

平成28年2月3日(水)から平成28年2月22日(月)まで(意見:12件)

4 津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(1) 4つの重点戦略を設定

	設定項目	戦略目標
重点戦略1	20～30歳代の女性の転出を抑制する	結婚による世帯形成や持ち家取得時の居住場所として、津島市を選んでもらうことにより女性の減少を抑制し、子どもの増加をめざす
重点戦略2	就職期の若者の転出を抑制する	市外に働きに出ても、津島市内に住み続けることを希望する若者を増やす
重点戦略3	名古屋市への通勤者の転入を増やす	名古屋駅周辺の就業者の拡大を見込んで、名古屋市への通勤者の転入者を増やす
重点戦略4	元気で魅力的な都市のイメージを形成する	津島の都市イメージを高め、若い人の定住を促すとともに、安定した交流人口の拡大を図り、雇用機会とそこで働く若い人を増やす

(2) 重点戦略を踏まえた施策の方針

- ①若い世代の結婚・出産・子育てを応援する
- ②津島市に住み続けながら働けるようにする
- ③人の交流・活動を活発にし、都市イメージを改善する
- ④時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る

(3) 上記項目等を達成するために施策・事業を実施する。

また、各項目の達成度合いを測るための重要業績評価指標を設定。